



株式会社 Space Power Technologiesとの資本提携について

2019年6月5日
関西電力株式会社
合同会社 K4 Ventures

関西電力グループの取組み

少子高齢化・人口減少をはじめとする社会課題の高まりに対して、「グループ」総合力という強みを活かしつつ、イノベーションを加速することで、より幅広く解決策をご提供いたします。



合同会社K4 Ventures (K4V) からの出資スキーム

2

関西電力

出資

K4V

直接
投資

社内
ベンチャー※

直接
投資

社外
ベンチャー

間接
投資

ベンチャー
キャピタルファンド

社外
ベンチャー

※関西電力の社内ベンチャー

直接、個別のベンチャー
企業に投資

ベンチャー企業に投資
するファンドに投資

＜K4Vの概要＞

会社名：合同会社K4 Ventures

所在地：大阪市北区中之島3丁目6番16号
(関西電力株式会社本店ビル内)

設立：1998年9月※

代表者：森本 孝

※2018年11月に関電ベンチャーマネジメントから社名変更

	直接投資	間接投資
投資先	個別のベンチャー企業	ベンチャーキャピタル ファンド
投資目的	ベンチャーの革新的な技術/ビジネスモデルと関西電力グループ経営資源の活用による事業 機会の創出	技術・ビジネスモデル の情報収集等
投資実績	Ubie(株) (株)VPPJapan (株)SIRC イディットフォース(株) CONNEXX SYSTEMS(株) Next-e Solutions(株) ピクシーダストテクノロジーズ(株) (株)Space Power Technologies (今回)	(株)環境エネルギー投資 Scrum Ventures LLC

今回の出資は、この仕組みにおける10件目のベンチャー投資となり、直接投資としては8件目

会社概要

株式会社 Space Power Technologies

設立：2019年5月

資本金：53百万円

本社：京都府京都市西京区御陵大原

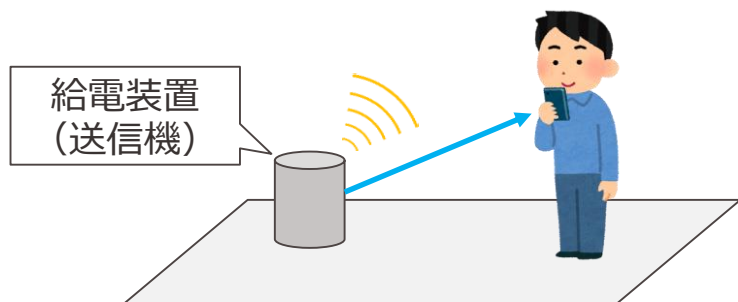
1-36 京大桂ベンチャープラザ北館106

代表者：古川 実

- マイクロ波による無線給電システムを設計・開発しており、高効率な送受信デバイスの設計とマイクロ波ビームの制御技術に強みを持つ。
- 携帯端末やIoTセンサー等に対し、離れたところから無線給電※を行い、頻繁な充電や電池交換を不要とすることで、お客さまの事業や暮らしの中のエネルギー利用の利便性向上を目指す。

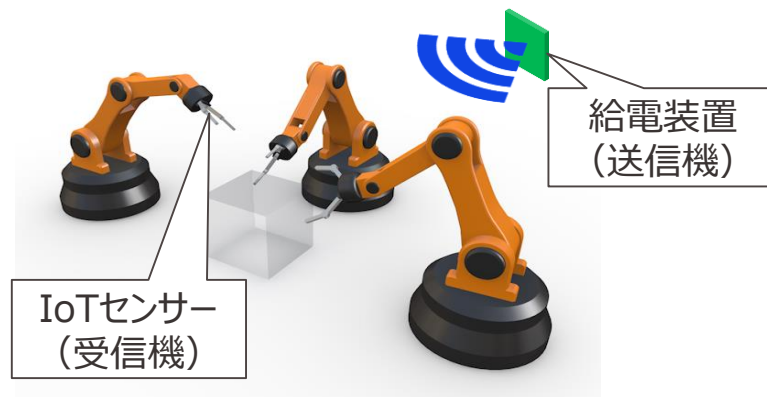
※今後の法改正により許容される範囲内で事業化を予定。

将来の活用シーンのイメージ



携帯端末（スマートフォン、タブレットなど）

外出先でも携帯端末が無線で充電される。



工場内のIoTセンサー等

IoTセンサー等が無線で給電される。
(電池交換不要、メンテナンスフリー)

高効率のマイクロ波無線給電技術を持つベンチャー企業

参考：用語解説

マイクロ波とは

- 波長が約10cmから 1cmの領域の電波を指す。
- 主に、通信や加熱などの用途に使用され、テレビの衛星放送、携帯電話（3.5GHz帯）、無線LAN（5GHz帯）、電子レンジなどに活用されている。

無線給電とは

- コンセントなど有線を用いず、電波を用いて電力を供給することを指す。
- 近年、無線給電技術は、ICOCAやSuicaなどの交通系ICカードや、iPhone等の携帯端末で採用されている方式（Qi（チー））など、接触もしくは数cm以下の近距離の用途で主に使用されている。
- マイクロ波を用いると、数m以上の距離でも無線給電が可能となる。

給電と充電の違い

- 給電とは、直接、電気的エネルギーを送り、稼働出来る状態にすること。
- 充電とは、蓄電池やコンデンサ等に電気的エネルギーをたくわえさせること。